

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

内房線と地域を守る会 ワンマン運転問題 考える会開催

地域の怒りとともに職場から反対の声を

内房線のワンマン運転問題を考えようーみんな
で知ろう 運転士の仕事・車掌の仕事ー (9/13)



〈質疑応答での主な意見〉

- ◆ 運転士1人になったら乗客の安全はどうなるのか
- ◆ 他の地域でワンマン運転に対する意見はどうなっているか
- ◆ JR内の労働組合は何をやっているのか

その他、ワンマン運転拡大・導入への疑問や
反対の声が続いてきた

千葉支社 団体交渉部 「4両ワンマン実施」と回答

JR千葉支社は動労千葉との団体交渉で「木更津〜上総一ノ宮間を通して運行する」「E131系4両でのワンマン運転を行うことがある」「4両ワンマンを行う条件はまだ回答できない」と回答しています。

会社はコロナ禍に乗じて中編成ワンマン運転実施と木更津〜上総一ノ宮間の切り離し・切り捨ての道を開こうとしています。

鉄道の安全を破壊し、車掌を削減して運転士に全ての責任を負わせ、地域の過疎化に拍車をかけるーワンマン拡大を認めることはできません。地域の怒りとともに、職場からワンマン運転反対の声をあげよう。

9月13日、館山市で内房線と地域を守る会主催の「内房線のワンマン運転問題を考えようーみんなで知ろう 運転士の仕事・車掌の仕事ー」が開催されました。

会場では久留里線のワンマン運転を担当している運転士、木更津運輸区の元車掌の方が業務内容を説明しました。また、東北本線・黒磯〜新白河間の5両ワンマン運転の現地調査について、運転士が確認するモニターには限界があること、障害者が利用する際の問題点などが報告されました。

今後も学習会を開催し地域からワンマン問題に声をあげること、JRや国土交通省に要請行動を行うことが確認されています。

地域のないがしろにするJRに怒り

地域の住民にとってワンマン化や列車削減は切実な問題です。この間、内房線と地域を守る会や外房線と地域を守る会は、1万筆を超える署名提出などを行っています。

しかし、会社は来年3月から内房線、外房線、鹿島線へのワンマン運転拡大を行おうというのに、未だに地元住民への説明すらまったく行っていない。地域住民を顧みず、一方的に列車削減やワンマン化を進めるJRに対し、深い怒りの声があがっています。